

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

妙高山麓トレイルランニングプロジェクト

2 地域再生計画の作成主体の名称

妙高市

3 地域再生計画の区域

妙高市の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地域の現状

妙高市は新潟県の南西部に位置し、日本百名山の秀峰妙高山や火打山などの裾野は広大な妙高山麓の高原丘陵地帯を形成し、その山麓一帯は、平成 27 年に誕生した妙高戸隠連山国立公園に属している。

大自然の恵みは、雄大な自然景観と四季折々の変化に富んでおり、豊富な湯量と多様な効果を持つ温泉や、良質で豊かな積雪は、古くからスキーリゾートとしての発展をもたらしてきたが、バブル経済崩壊やスキー産業の低迷により、観光入込客は平成 3 年の 598 万人をピークに年々減少を続け、平成 29 年度においては 274 万人となり、観光産業の衰退が危惧されている。

しかしながら、近年はウインターシーズンにおいて、インバウンド観光客が増加傾向にあるとともに、平成 27 年度の妙高戸隠連山国立公園の誕生と同時期に北陸新幹線・上越妙高駅が開業したことで、交流人口の拡大や地域経済の活性化が期待されている。

また、当市及び長野県北信地域と連携した誘客イベントとして、信越五岳トレイルランニングレースを開催しており、160 km (100mile) と 110 km のカテゴリに分かれて舗装路以外の山野を走り抜けるものであり、110km では申し込み約 5 分でエントリーが終了するなど国内屈指のレースとなっており、新たな観光誘客の一つとなっている。

4-2 地域の課題

妙高市は、妙高山麓の恩恵を受け、7つの温泉や9つのスキー場など、観光資源に溢れる観光地であるが、我が国の少子高齢化も相まって、前述したとおり、このまま観光入込客数が減少すると、市の経済基盤の弱体化が懸念される。

国立公園の誕生や北陸新幹線の開業という復活に向けた千載一遇のチャンスを得た今、妙高の観光資源を活用した新たな魅力を創出するとともに、時代のニーズを敏感に捉え、国内外からの誘客促進を図ることによって、観光産業の復活や地域活性化が必要である。

また、魅力的な観光資源（トレイルランニングコース等）はあるが、単発的なイベントに留まっており、年間を通じた十分な活用が図れていない。

4-3 目標

【概要】

妙高市の有する観光資源の活用及び時代のニーズを捉えた新たな誘客事業の開催を支援するため、信越五岳トレイルランニングレースにおいて利用しているコースを通年（グリーンシーズン）で活用することで、さらなる交流人口の拡大を図るとともに地域経済の活性化を図る。

【数値目標】

事業の名称	妙高山麓トレイルランニングプロジェクト	妙高山麓トレイルランニングプロジェクト	基準年月
K P I	コース利用者数 (人)	妙高市全体 観光売上額 (百万円)	
申請時	1,000	6,767	2018年3月
2019年度	1,600	9,000	2020年3月
2020年度	1,800	10,000	2021年3月
2021年度	2,000	11,000	2022年3月

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2の③及び5-3のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

妙高山麓トレイルランニングプロジェクト

② 事業区分

観光業の振興

③ 事業の内容

【事業の概要】

このエリアでは、日本屈指のトレイルランニングレース「信越五岳トレイルランニングレース」が毎年9月に行われており、妙高エリアを「トレランの聖地」として国内外に広く発信するとともに、同大会のコースの一部であるトレイルランニングコースを整備し、通年（グリーンシーズン）の利用を行うことで、新規顧客の獲得による交流人口の拡大を図り地域経済の活性化を目指す。

【年度ごとの事業の内容】

（2019年度）

【コースの整備】

- コース誘導看板設置
 - ・誘導看板の製作 100本
- コース維持管理
 - ・草刈り等維持管理 L=17.0km W=3.0m

【情報発信】

- イベントやSNSによる情報発信

- ・各種イベントや海外などの観光宣伝においてコースのPRを実施
- ・SNSによる情報発信

(2020年度)

【コースの整備】

- コース誘導看板設置
 - ・誘導看板の製作 20本
- コース維持管理
 - ・草刈り等維持管理 L=27.0km W=3.0m

【情報発信】

- イベントやSNSによる情報発信
 - ・各種イベントや海外などの観光宣伝においてコースのPRを実施
 - ・SNSによる情報発信

(2021年度)

【コースの整備】

- コース誘導看板設置
 - ・誘導看板の製作 20本
- コース維持管理
 - ・草刈り等維持管理 L=37.0km W=3.0m

【情報発信】

- イベントやSNSによる情報発信
 - ・各種イベントや海外などの観光宣伝においてコースのPRを実施
 - ・SNSによる情報発信

④ 地方版総合戦略における位置付け

「生命地域創造都市・妙高版総合戦略」においては、「四季を通じた外国人観光客（インバウンド）の誘客」「滞在型観光を推進する観光拠点施設の整備と新たな魅力づくり」を定めており、国内外プロモーションでの観光宣伝やトレイルランニングコースの整備を行うことにより、観光入込客の増を図る。

〔生命地域創造都市・妙高版総合戦略における全体目標値〕

○観光入込 平成 26 年度 573 万人 ⇒ 平成 31 年度 660 万人

○外国人観光入込 平成 26 年度 25,690 人⇒平成 31 年度 30,000 人

⑤ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

事業の名称	妙高山麓トレイル ランニングプロジ ェクト	妙高山麓トレイル ランニングプロジ ェクト	基準年月
	KPI	コース利用者数 (人)	
申請時	1,000	6,767	2018年3月
2019年度	1,600	9,000	2020年3月
2020年度	1,900	11,000	2021年3月
2021年度	2,100	12,000	2022年3月

⑥ 事業費

(単位：千円)

事業費の額			
2019年度	2020年度	2021年度	計
1,366	1,439	2,000	4,805

⑦ 申請時点での寄附の見込み

(単位：千円)

寄附法人名	寄附の見込額			
	2019年度	2020年度	2021年度	計
建設業	700	100	100	970
計	700	100	100	970

⑧ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

【評価の手法】

妙高市総合計画審議会（■産 総合計画審議会委員（妙高ツーリズムマネジメント副会長（観光業））、■官 総合計画審議会委員（環境省長野自然保護官事務所 妙高高原自然保護官事務所自然保護官）、総合計画審議会副会長（新潟県 上越地域振興局 企画振興部長（行政））、■学 総合計画審議会会長（国立大学法人 上越教育大学 准教授（大学教授））、■金 総合計画審議会委員（第四銀行新井支店長（金融業））、■労 総合計画審議会委員（連合新潟上越地域協議会頸南支部事務局長（労働団体））、■言 総合計画審議会委員（新井有線放送農業協同組合業務課長）など）において、評価と検証を行うことにより、PDCA サイクルの的確な運用を図る。

【評価の時期及び内容】

毎年度6月末、妙高市総合計画審議会委員において、評価・分析を行う。

【公表の方法】

目標の達成状況については、検証後速やかに妙高市ホームページ上で公表する。

⑨ 事業実施期間

2019年4月1日から2022年3月31日まで

⑩ 寄附の金額の目安

3,439千円（2020年度～2021年度累計）

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) 信越五岳トレイルランニングレース支援事業

① 事業概要

妙高市及び近隣市町で行われている、トレイルランニングレースに対し、

同大会の開催へ向けた支援を行い、交流人口の拡大を図る。

② 事業実施主体

妙高市及び信越五岳トレイルランニングレース実行委員会

③ 事業実施期間

2019年4月1日から2022年3月31日まで

毎年実施

(2) 常設トレランコースを利用したトップアスリートによるクリニックの開催

① 事業概要

コースの利用促進を図るため、トップアスリートによるトレランクリニックを開催し誘客促進を図る。

② 事業実施主体

妙高市及び妙高版DMO「妙高ツーリズムマネジメント」

③ 事業実施期間

2019年4月1日から2022年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2022年3月31日まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

5-2の⑧に掲げる【評価の手法】に同じ。

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

4-3の目標について、5-2の⑧に掲げる【評価の時期及び内容】に同じ。

7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

5-2の⑧に掲げる【公表の方法】に同じ。